



Perplexity PatentsのAI特許検索：包括的分析レポート

2025年10月30日、Perplexityは世界初のAI特許調査エージェント「Perplexity Patents」をリリースしました。このツールは、従来専門家にのみアクセス可能だった特許インテリジェンスを民主化し、自然言語による会話型検索を通じて誰もが利用できるようにすることを目指しています。本レポートは、Perplexity Patentsの機能、従来の検索方法との違い、ユーザーへの利点、他のAI特許検索ツールとの比較、および将来の展望について包括的に分析します。^{[1] [2] [3]}

Perplexity Patentsの概要と提供状況

Perplexity Patentsは、自然言語処理と高度なAIエージェントシステムを組み合わせた革新的な特許検索プラットフォームです。従来の特許検索システムが正確なキーワードの組み合わせと難解な構文の知識を必要としていたのに対し、Perplexity Patentsは「言語学習のためのAIに関する特許はありますか？」や「2024年以降の主要な量子コンピューティング特許は？」といった自然な質問形式での検索を可能にします。^{[4] [1]}

提供状況と料金体系

Perplexity Patentsは2025年10月30日よりベータ版として世界中で提供されています。ベータ版期間中、基本機能はすべてのユーザーに無料で提供されます。一方、Perplexity ProおよびMaxサブスクリプションの加入者には、追加の利用枠とモデル設定オプションが提供されます。この価格戦略は、特許検索の民主化という同社のビジョンを反映しており、従来の専門的なプラットフォームが年間数千ドルから数万ドルのコストを要求していたのとは対照的です。^{[2] [5] [6] [1] [4]}

対象ユーザー層

Perplexity Patentsは、幅広いユーザー層を対象としています。エンジニア、研究者、特許実務家、ビジネスリーダーなどの専門家はもちろん、これまで複雑な検索システムに阻まれていた非専門家、スタートアップ、個人発明家も利用できるように設計されています。これは、特許情報へのアクセスを「専門家以外の人々は傍観者」という状態から、誰もが参加できる環境へと転換させる試みです。^{[3] [1] [4]}

自然言語検索と従来のキーワードベース検索の違い

Perplexity Patentsの最大の革新は、従来のキーワードベース検索からセマンティック（意味論的）検索への転換にあります。

従来のキーワードベース検索の限界

従来の特許検索システムは、正確なキーワード一致に依存しており、複数の重大な限界を抱えています。第一に、特許文書は意図的に独自の用語を使用することが多く、発明者や弁理士は既存の特許との直接比較を避けるために新しい専門用語を創造します。第二に、国際的な特許出願では、翻訳によって技術用語の意味が変化したり、失われたりすることがあります。第三に、隣接する産業分野では同じ発明を異なる用語で表現することが多く、キーワード検索では重要な先行技術を見逃す可能性があります。^{[7] [8] [9]}

Google Patentsのような無料ツールも、限定的な検索フィルター、不正確な検索結果、検索結果の上限（通常300件まで）、履歴データの不完全性、高度な分析機能の欠如といった制約を抱えています。さらに、Boolean演算子やCPC（Cooperative Patent Classification）コードの知識が必要とされ、非専門家にとっては高いハードルとなっています。^{[10] [11] [12] [7]}

セマンティック検索の優位性

Perplexity Patentsは、AI駆動のセマンティック検索を採用することで、これらの限界を克服します。セマンティック検索は、キーワードの完全一致ではなく、概念や意味の類似性に基づいて検索を行います。^{[8] [13] [9]}

具体的な例として、「フィットネストラッカー」という用語で検索した場合、従来のツールではその正確な用語を含む特許のみが表示されます。しかし、Perplexity Patentsでは、「アクティビティバンド」「歩数計ウォッチ」「健康モニタリングウェアラブル」といった概念的に関連する用語を使用した特許も自動的に発見されます。これは、AIが単語やフレーズの意味と文脈的關係を理解し、異なる用語であっても同じ技術的概念を指している場合にそれを認識できるためです。^{[9] [1] [2] [4] [8]}

AIエージェントシステムの仕組み

Perplexity Patentsの背後には、最先端のエージェント型リサーチシステムが存在します。このAIリサーチエージェントは以下のように機能します：^{[1] [4]}

1. **クエリの分解**：複雑なユーザークエリを具体的な情報検索タスクに分解します。
2. **特許知識インデックスの活用**：エクサバイト規模の検索インフラストラクチャ上にホストされている特別な特許知識インデックスを用いて、各タスクを実行します。
3. **反復的なリサーチ**：初期結果を基にフォローアップリサーチを進め、関連性の高い特許を追加で発見します。
4. **包括的な回答の生成**：準備が整うと、数十から数百の関連資料を提示してクエリに回答します。

このプロセス全体がユーザーには透過的であり、ユーザーは正確なキーワードを入力したり、面倒な手続きを踏んだりする必要がありません。^{[4] [1]}

ユーザーにとっての具体的な利点と先行技術調査における活用

Perplexity Patentsは、さまざまなユーザーグループに対して具体的な利点を提供します。

エンジニアと研究者への利点

エンジニアと研究者にとって、Perplexity Patentsは研究時間を劇的に短縮します。従来の先行技術調査は数日から数週間を要することがありましたが、Perplexity Patentsは数分から数時間でこのプロセスを完了できます。これにより、R&Dチームはより迅速に意思決定を行い、製品を市場に投入できます。^{[14] [15] [16] [3]}

さらに、Perplexity Patentsは学術論文や公開ソフトウェアリポジトリなど、特許データベースを超えた情報源も検索するため、研究者は技術の全体像を把握し、新しいアイデアやブレイクスルーが最初に登場する場所を追跡できます。これは、生成AI、量子アルゴリズム、バイオインフォマティクスなどの急速に進化する分野において特に価値があります。^{[17] [14] [11] [4]}

特許実務家とIP専門家への利点

特許弁護士や特許代理人にとって、Perplexity Patentsは予備調査フェーズを大幅に加速します。米国知的財産法協会（AIPLA）の経済調査によると、専門的な先行技術調査は通常数千ドルのコストがかかります。Perplexity Patentsは、この初期段階のデューデリジェンス活動を圧縮することで、時間的にも金銭的にもコストを削減します。^{[3] [14]}

さらに、平易な英語での要約機能により、弁護士は複雑な特許内容を技術的背景のないクライアントに説明しやすくなります。これは、クライアントとのコミュニケーションを改善し、より情報に基づいた意思決定を促進します。^{[18] [3]}

独立発明家とスタートアップへの利点

独立発明家とスタートアップにとって、Perplexity Patentsは最も変革的な影響を与える可能性があります。従来、これらのグループは高価な特許検索サービスへのアクセスが限られていたため、適切な先行技術調査を行わずに特許出願を進めることが多く、後の審査段階で問題に直面するリスクがありました。^{[19] [3]}

Perplexity Patentsの無料ベータ版は、このギャップを埋め、発明家が試作品開発に数ヶ月を費やす前に、数分で類似の発明が存在するかどうかを確認できるようにします。これにより、無駄な投資を避け、真に新規性のあるアイデアにリソースを集中できます。^{[19] [3]}

先行技術調査における活用方法

先行技術調査において、Perplexity Patentsは以下のように活用できます：

1. **新規性チェック**：新しい発明のアイデアを自然言語で説明し、類似の既存特許が存在するかを迅速に確認できます。^{[14] [3]}
2. **自由実施調査（FTO）**：製品が他社の特許を侵害するリスクを評価するために、製品の各機能について関連特許を検索できます。^{[3] [14]}
3. **技術動向分析**：特定の技術分野における特許出願の傾向を把握し、競合他社の活動やイノベーションのホットスポットを特定できます。^{[17] [4]}
4. **比較分析**：複数の特許を並べて比較し、技術の進化や改良点を理解できます。^[3]
5. **引用探索**：特定の特許を引用している特許、またはその特許が引用している特許を追跡し、技術の系譜を明らかにできます。^[3]

複数情報源の統合：その重要性と影響

Perplexity Patentsの重要な特徴の一つは、従来の特許データベースを超えて、多様な情報源を統合して調査する能力です。

非特許文献の重要性

今日の先行技術は、ますます多様で型破りな形でカプセル化されています。ブログ、動画、コンピュータコード、学術論文などがその例です。特にソフトウェアやAI関連の発明では、オープンソースのソフトウェアリポジトリ（GitHub等）や技術ブログに最初に公開されることが多く、これらは特許出願よりも先に公開されることがあります。^{[1] [4] [17] [14]}

この現実を認識し、Perplexity Patentsは必要に応じて学術論文、公開ソフトウェアリポジトリ、その他の情報源も調査します。これにより、ユーザーはプレプリントからプロトタイプ、そして特許出願に至るまでの連続的な流れを把握し、誰が何をしているか、そして活動がどれほど迅速に保護可能な発明に収束しているかを明らかにできます。^{[4] [17] [14] [1]}

統合検索の影響

複数情報源の統合は、以下のような重要な影響をもたらします：

1. **包括的な先行技術の発見**：特許データベースだけでは見逃してしまう可能性のある先行技術を発見できます。これは、特許性の評価や無効化訴訟において決定的な証拠となる可能性があります。^[14]
2. **技術トレンドの早期把握**：特許出願よりも先に公開される学術研究やオープンソースプロジェクトを追跡することで、競合他社よりも早く新興技術のトレンドを把握できます。^{[1] [14]}
3. **イノベーションの全体像の理解**：特許、学術、産業の各領域にわたる知識を統合することで、特定の技術分野におけるイノベーションの完全な景観を理解できます。^{[4] [1]}
4. **設計回避の機会の特定**：既存の特許と学術研究を組み合わせることで、特許を回避しつつ技術的目標を達成する代替アプローチを特定できます。^[14]

ただし、AI生成の要約は出発点であり、法的意見ではないという注意点があります。弁護士やエージェントは、依然としてクレームを読み、優先日を確認し、実施形態を比較する必要があります。Perplexity Patentsが提供する組み込みリンクとインラインビューアは、迅速な検証と正確な引用を可能にするため、この点で重要です。^[14]

他のAI特許検索ツールとの比較

Perplexity Patentsは、既存のAI特許検索ツールが存在する競争的な市場に参入しました。主要な競合ツールとの比較により、Perplexity Patentsの独自の位置づけが明らかになります。

主要な競合ツール

Patsnap Eureka AIは、企業IP部門とR&D集約型テクノロジー企業向けの包括的なエンタープライズグレードのプラットフォームです。140以上の管轄区域にわたる1億4000万件以上の特許にアクセスでき、特許データと科学文献、訴訟情報、市場インテリジェンスを統合しています。高度なAI駆動のセマンティック検索、視覚的分析、自動特許起草ツールを提供しますが、企業向けの価格設定が必要で、学習曲線があります。^{[6] [20] [21]}

IPRallyは、Graph AIテクノロジーを活用したFTO（自由実施）検索と先行技術分析に特化したプラットフォームです。特許専門家によってトレーニングされたAIを使用し、文脈を考慮した検索と自然言語質問を可能にします。ただし、専門的なプラットフォームとしての焦点が絞られているため、包括的なポートフォリオ管理機能は限定的です。^{[22] [6]}

****PQAI (Patent Quality Artificial Intelligence) ****は、AT&TとGeorgia Intellectual Property Allianceによる完全無料のオープンソースの自然言語ベースの特許検索プラットフォームです。ユーザーのプライバシーを保護し、検索クエリや履歴を記録しません。発明家、スタートアップ、研究者に最適ですが、高度なポートフォリオ管理や企業向け機能は提供していません。^{[23] [10] [19]}

Google Patentsは、最も広く使用されている無料の特許検索ツールで、世界中の主要特許庁からの包括的なカバレッジを提供します。しかし、限定的な検索フィルター、セマンティック検索の欠如、高度な分析機能の不足といった制約があります。^{[11] [6] [7]}

USPTO Databaseは、米国特許商標庁の公式データベースで、最新の法的ステータス情報を提供します。正確で信頼性が高いですが、Boolean検索とキーワードベースの検索に依存しており、ユーザーフレンドリーなインターフェースに欠けます。^{[12] [24] [25] [6] [7]}

Perplexity Patentsの差別化要因

Perplexity Patentsは、以下の点で他のツールと差別化されています：

1. **真の会話型AI**：Perplexity Patentsは、単一の質問に答えるだけでなく、コンテキストを維持しながら会話を継続できる点で際立っています。フォローアップ質問により、ユーザーは最初からやり直すことなく検索を深掘りできます。他の多くのAIツールは、個別のクエリごとに新しい検索を開始する必要があります。^{[1] [4]}
2. **アクセシビリティと民主化**：無料のベータ版として提供されることで、Perplexity Patentsは高価なエンタープライズツール（Patsnap等）と無料だが機能が限定的なツール（Google Patents等）の間のギャップを埋めます。これは特許調査の真の民主化を意味します。^{[5] [26] [2] [6]}
3. **エージェント型アプローチ**：Perplexity Patentsのエージェント型リサーチシステムは、単に検索を実行するだけでなく、クエリを分解し、反復的にリサーチを進め、包括的な回答を合成します。これは、多くの競合ツールの単純な検索・返却モデルよりも高度です。^{[4] [1]}
4. **シームレスな統合体験**：Perplexityの既存の検索エンジンとの統合により、ユーザーは特許関連のクエリを入力するだけで自動的に特許検索エージェントが起動します。別のプラットフォームやインターフェースに移行する必要がありません。^{[27] [28]}
5. **自然言語の真の理解**：意味論的検索を提供する他のツールと比較しても、Perplexity Patentsは自然言語処理において特に強力であり、専門的な訓練なしに誰でも使用できます。^{[2] [1] [4]}

制約と考慮事項

ただし、Perplexity Patentsにも制約があります。ベータ版として、まだ機能が発展途上であり、専門的な有料ツールが提供する高度なポートフォリオ管理、詳細な引用分析、カスタマイズ可能なレポート生成などの機能は限定的です。また、正式な特許出願や訴訟研究には、依然として専門的なツールが必要とされる場合があります。^{[6] [3] [14]}

さらに、Perplexityに対しては、AI生成コンテンツの正確性やソースの信頼性に関する懸念が一部で提起されています。ユーザーは、重要な決定を行う前に、AIが提供する情報を独立して検証すること

が推奨されます。^{[29] [30] [14]}

特許調査分野への影響と将来の展望

Perplexity Patentsの登場は、特許調査の分野に多大な影響を与える可能性があります。

産業への影響

市場の成長と変革：AI特許検索ソフトウェア市場は急速に成長しており、Verified Market Researchによれば、2023年の9億ドルから2031年には22.8億ドルに達すると予測されています（CAGR 12.32%）。また、Fortune Business Insightsによれば、特許およびマーケットインテリジェンスにおけるAI市場は、2025年の14.1億ドルから2032年には43.1億ドルに成長すると予測されています（CAGR 17.3%）。この成長の背後には、グローバルなR&D投資の増加、特許出願件数の増加、AI駆動ツールへの需要の高まりがあります。^{[31] [32]}

Perplexity Patentsは、この市場において破壊的な影響を与える可能性があります。無料でアクセス可能なAI駆動の特許検索を提供することで、従来高価なツールにアクセスできなかった中小企業、スタートアップ、個人発明家が高品質な先行技術調査を実施できるようになります。これは、特許の質を向上させ、無効な特許の出願を減少させる可能性があります。^{[16] [19] [3]}

IP専門家の役割の変化：AIツールの普及により、特許弁護士や代理人の役割が変化しています。ルーチンの検索や起草作業が自動化されることで、専門家はより戦略的な業務、例えば訴訟戦略の策定、クレームの精緻化、クライアントへの助言などに集中できるようになります。Perplexity Patentsは、この傾向を加速させ、「AI拡張弁護士」という新しいパラダイムを生み出す可能性があります。^{[33] [34] [35] [18] [16]}

イノベーションの加速：先行技術調査の時間とコストが劇的に削減されることで、R&Dプロセス全体が加速します。企業はより迅速に意思決定を行い、製品を市場に投入できるようになります。これは、AI、量子コンピューティング、バイオテクノロジーなどの急速に進化する分野において特に重要です。^{[15] [16] [14]}

将来の展望と発展の方向性

Perplexity Patentsは、現在ベータ版として提供されており、ユーザーフィードバックを収集して製品を改良する段階にあります。Jerry Ma副CTOは、ローンチ後にユーザーからのリクエストが殺到しており、先行技術クエリを超えたより広範な検索機能への要望があると述べています。^{[36] [5] [27]}

将来的には、以下のような機能の追加が期待されます：

1. **リアルタイム特許モニタリング：**特定の技術分野で新しい特許が出願されると自動的にアラートを送信するAIシステム。^[3]
2. **自動化されたFTO分析：**製品設計を分析し、潜在的に競合する特許を自動的に特定し、予備的な自由実施報告書を生成する機能。^[3]
3. **特許起草支援：**AIが類似の技術分野における成功した特許を分析し、最適なクレーム構造を提案することで、発明家がより良い仮出願を起草できるよう支援する機能。^[3]
4. **予測的特許分析：**機械学習モデルを使用して、どの特許出願が認められるか、特許がどれほど価値を持つか、どの技術が特許活動の増加を見ているかを予測する機能。^[3]

5. **言語翻訳**：技術的な正確性を保ちながら国際特許を即座に翻訳し、グローバルな先行技術をすべての人がアクセス可能にする機能。^[3]
6. **競争環境マッピング**：どの企業が特定の技術を支配しているか、どこにホワイトスペースの機会が存在するかを示す特許ランドスケープレポートの自動生成。^[3]

課題と懸念事項

一方で、Perplexity Patentsの普及には課題も伴います。AI生成の要約や推奨は、あくまで出発点であり、法的意見の代替とはなりません。重要な特許決定には、依然として専門家の判断と詳細な分析が必要です。^[14]

また、Perplexity全般に対する批判として、AI生成コンテンツの正確性、ソースの信頼性、著作権侵害の問題が指摘されています。Redditなどの企業は、Perplexityがユーザーコメントを無断でスクレイピングしていると訴訟を起こしており、AIツールにおけるデータソーシングの倫理的・法的側面が重要な問題となっています。^{[30] [37] [38] [29]}

さらに、特許トロールがAIツールを悪用して、ユーザーのアイデアを先取りする「フロントランニング」のリスクも懸念されています。Perplexityは、ユーザーの機密情報を保護するための対策について透明性を持つ必要があります。^[39]

結論：特許調査の新時代

Perplexity Patentsは、特許調査の分野における重要な転換点を示しています。自然言語による会話型AI、セマンティック検索、複数情報源の統合、そして無料アクセスという組み合わせは、特許インテリジェンスの民主化という新しい時代を切り開きます。^{[26] [2] [1]}

従来は専門家と大企業にのみアクセス可能だった高度な特許調査ツールが、今や誰でも利用できるようになることで、イノベーションのエコシステム全体が変化する可能性があります。独立発明家、スタートアップ、研究者、教育機関は、より良い情報に基づいた決定を行い、無駄な投資を避け、真に新規性のあるアイデアに集中できるようになります。^{[16] [19] [3]}

一方で、AI駆動ツールの普及には、正確性、倫理性、透明性に関する課題も伴います。Perplexity Patentsの成功は、これらの課題にどのように対処し、ユーザーからの信頼を構築できるかにかかっています。ベータ版からのフィードバックと継続的な改善により、Perplexityは特許調査の未来を形作る重要な役割を果たす可能性があります。^[36]

最終的に、Perplexity Patentsは特許調査を「ワンクリック」で完結させることはできませんが、最初のパスをより速く、より発見しやすくするだけでも意義深い進歩です。会話型の発見と厳格なソーシング、エンタープライズグレードのコントロールを融合できれば、先行技術調査をイノベーターが自然に操作し、考え、質問する方法に少し近づけることができるかもしれません。特許調査の民主化は、イノベーションの民主化への道を開き、より公平で創造的な未来を構築する可能性を秘めています。^{[40] [41] [26] [14]}



1. Perplexity-Patents-nokoShao-Jie-_-Shui-temoShi-eru-AI-Da-Zai-noTe-Xu-Jian-Suo.pdf

2. <https://www.theverge.com/news/811340/perplexity-ai-patent-research-tool>

3. <https://www.thepromptbuddy.com/prompts/perplexity-launches-ai-patent-search-engine-game-changer-for-inventors>
4. <https://www.perplexity.ai/ja/hub/blog/introducing-perplexity-patents>
5. <https://www.investing.com/news/company-news/perplexity-launches-ai-powered-patent-search-tool-for-all-users-93CH-4320506>
6. <https://www.patsnap.com/resources/blog/articles/best-patent-search-platforms-2025/>
7. <https://www.bigtechpatents.com/are-there-any-limitations-to-the-search-functionality-on-google-patents/>
8. <https://www.bananaip.com/intellepedia/patent-search-keyword-search-semantic-search-india/>
9. <https://patentsearch.intergator.cloud/en/why-semantic-patent-search-makes-your-work-easier/>
10. <https://projectpq.ai/top-ai-patent-search-tools/>
11. https://www.youtube.com/watch?v=u_OT7CHEzKQ
12. <https://ttconsultants.com/google-patent-search-a-definitive-guide-for-patent-searching/>
13. <https://helpcenter.inquartik.com/ps-semantic-search>
14. <https://www.findarticles.com/perplexity-launches-ai-patent-research-engine/>
15. <https://arxiv.org/html/2507.20322v1>
16. <https://www.drugpatentwatch.com/blog/the-future-of-patent-intelligence-tools-how-ai-is-revolutionizing-the-landscape/>
17. <https://www.ndtvprofit.com/technology/perplexity-patents-how-the-patent-research-ai-agent-works-who-can-use>
18. <https://www.aipia.org/list/innovate-articles/ai-aids-for-patent-prosecution---product-review>
19. <https://founderslegal.com/pqai-free-patent-search/>
20. [https://confluence.wipo.int/confluence/download/attachments/1640665080/Topic 13 - Commercial IP Database Platforms Features, Services, and Business Applications - Patsnap.pdf?version=1&modificationDate=1746613249866&api=v2](https://confluence.wipo.int/confluence/download/attachments/1640665080/Topic+13+-+Commercial+IP+Database+Platforms+Features,+Services,+and+Business+Applications+-+Patsnap.pdf?version=1&modificationDate=1746613249866&api=v2)
21. <https://eureka.patsnap.com/blog/ai-productivity-tools-2025/>
22. <https://www.solveintelligence.com/blog/post/top-patent-analysis-tools>
23. <https://parolaanalytics.com/pqai-free-ai-patent-search/>
24. <https://www.greyb.com/blog/patent-databases-best-search-platforms/>
25. <https://sagaciousresearch.com/blog/understanding-various-resources-on-uspto-database-to-do-patent-search/>
26. <https://joshuaberkowitz.us/blog/news-1/how-perplexity-patents-is-democratizing-ai-powered-patent-research-1657>
27. <https://www.axios.com/2025/10/30/perplexity-ai-patent>
28. https://www.linkedin.com/posts/majerry_launching-perplexity-patents-the-worlds-activity-7389643654606487552-XiGi
29. https://www.reddit.com/r/perplexity_ai/comments/1khq9vx/perplexity_is_fabricating_user_reviews_just/
30. https://www.reddit.com/r/perplexity_ai/comments/1o85087/perplexity_is_fabricating_medical_reviews_and/
31. <https://finance.yahoo.com/news/patent-search-software-market-expected-144500582.html>
32. <https://www.fortunebusinessinsights.com/ai-in-patent-market-intelligence-market-114122>

33. https://www.linkedin.com/posts/jackiehutter_ai-slop-wikipedia-activity-7377960336982949888-KIZT
34. <https://www.solveintelligence.com/blog/post/best-ai-patent-prosecution-tools>
35. <https://www.deepip.ai/blog/best-ai-patent-drafting-tools-in-2025>
36. <https://news.bloomberglaw.com/ip-law/perplexity-debuts-new-ai-patent-tool-users-eager-for-updates>
37. https://www.reddit.com/r/perplexity_ai/comments/1odpofv/our_response_to_reddits_lawsuit/
38. <https://apnews.com/article/reddit-perplexity-ai-copyright-scraping-lawsuit-3ad8968550dd7e11bcd285a74fb6e2ff>
39. https://www.reddit.com/r/perplexity_ai/comments/1ok0cio/today_were_launching_perplexity_patents_the/
40. <https://theconversation.com/an-early-expression-of-democracy-the-us-patent-system-is-out-of-step-with-todays-citizens-43812>
41. <https://www.democracycollaborative.org/whatwethink/democratizing-knowledge-transforming-intellectual-property-and-research-and-development-1>
42. <https://www.financialexpress.com/life/technology-perplexity-patents-released-by-aravind-srinivas-as-an-ai-research-agent-here-is-what-it-can-do-4027442/>
43. <https://www.perplexity.ai/enterprise/templates/patent-researcher>
44. <https://uk.pcmag.com/ai/161036/cant-find-patents-perplexity-rolls-out-new-ai-patent-research-tool>
45. https://www.linkedin.com/posts/aravind-srinivas-16051987_introducing-perplexity-patents-the-first-activity-7389686315254124544-6Z39
46. <https://www.instagram.com/p/DQeRhZPj8xE/>
47. <https://www.pcmag.com/news/cant-find-patents-perplexity-rolls-out-new-ai-patent-research-tool>
48. https://x.com/perplexity_ai/status/1983875975877423277
49. <https://aiupdate.blog/perplexity-ai-patents-search-tool-launch-103125/>
50. <https://slashdot.org/software/comparison/Patent-Inspiration-vs-Perplexity-Patents/>
51. <https://jp.investing.com/news/company-news/article-93CH-1302167>
52. https://x.com/perplexity_ai?lang=ja
53. <https://slashdot.org/software/comparison/NLPatent-vs-Perplexity-Patents/>
54. <https://yourstory.com/ai-story/perplexity-patents-ai-led-research>
55. <https://www.devopsschool.com/blog/top-10-ai-intellectual-property-tools-in-2025-features-pros-cons-comparison/>
56. <https://saastake.com/top-ai-patent-search-tools/>
57. <https://eureka.patsnap.com/blog/top-ai-research-assistant-tools/>
58. <https://www.patentscan.ai/blog/limitations-of-google-patents-advanced-search-for-invalidation-what-ip-professionals-need-to-know-3ep2>
59. <https://ipauthor.com/ai-patent-search-in-2025/>
60. <https://eureka.patsnap.com/blog/best-ai-tools-2025/>
61. <https://www.drugpatentwatch.com/blog/the-hidden-pitfalls-of-searching-drug-patents-on-google-patents/>
62. <https://www.patenttext.com/blog-posts/a-complete-list-of-ai-patent-tools>
63. <https://finance.coin-turk.com/agent-ai-rethinks-patent-procedures-and-innovation-paths/>

64. <https://www.drugpatentwatch.com/blog/using-google-patents-to-find-drug-patents-heres-15-reasons-why-you-shouldnt/>
65. <https://patseer.com/top-5-ai-patent-search-platforms-to-watch-in-2025/>
66. <https://ipwatchdog.com/2024/03/26/patently-strategic-podcast-patents-ai/>
67. <https://www.arnoldit.com/wordpress/2017/04/26/keyword-search-vs-semantic-search-for-patent-seekers/>
68. <https://www.traindex.io/blog/how-is-semantic-search-different-from-keyword-search-578d/>
69. https://ptrca.org/journal_article/raider/
70. <https://www.c-sharpcorner.com/news/perplexity-launches-perplexity-patents-an-ai-powered-patent-search-engine>
71. <https://www.library.hbs.edu/services/help-center/patent-search-databases-comparison>
72. <https://www.russellip.com/ip-tool-demo-day/>
73. <https://www.startuphub.ai/ai-news/startup-news/2025/perplexitys-ai-patent-search-aims-to-demystify-ip-for-everyone/>
74. <https://www.nature.com/articles/s41597-019-0264-6>
75. <https://iipla.org/perplexity-debuts-ai-fueled-patent-research-tool/>
76. <http://www.francealzheimer-pyreneesatlantiques.org/patent-database-comparison.html>
77. <https://www.law360.com/articles/2406024/perplexity-debuts-ai-fueled-patent-research-tool>
78. <https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S0040162515000116>
79. <https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S0172219025000699>
80. <https://www.russellip.com/an-introduction-to-perplexity-ai-for-ip-professionals/>
81. <https://www.uspto.gov/patents/search/patent-public-search/faqs>
82. <https://www.nber.org/books-and-chapters/democratization-invention-patents-and-copyrights-american-economic-development-1790-1920>
83. https://www.reddit.com/r/Patents/comments/1ok4ydp/perplexity_announced_patent_search/
84. <https://www.techalliance.ca/news/democratizing-the-patent-industry/>
85. <https://hai.stanford.edu/ai-index/2025-ai-index-report>
86. https://www.reddit.com/r/perplexity_ai/comments/1cltxyr/thoughts_on_perplexity_the_pros_and_cons/
87. https://eh.net/book_reviews/the-democratization-of-invention-patents-and-copyrights-in-american-economic-development-1790-1920/
88. <https://zelojapan.com/en/lawsquare/57056>